

芭蕉の思いを胸に、未来へつなぐ

第39回奥の細道サミットinにかほ市象潟・第42回奥の細道象潟全国俳句大会

奥の細道ゆかりの自治体・団体が集い交流を深める奥の細道サミットが7月31日と8月1日、本市で18年振りに開催されました。1日目は会員を対象に蛸満寺等の視察が行われ、2日目の講演会では二人の講師が奥の細道や松尾芭蕉の魅力について語り、参加した約140人は興味深く聞き入っていました。また、第42回奥の細道象潟全国俳句大会も8月1日に開催されました。全国から一般の部、子どもの部合わせて113句の投句があり、その中から受賞した作品の選評や授賞式が行われました。



▲右上・右下：奥の細道サミットの様子 左下：俳句大会子供の部の受賞者たち

早期全線開通へ向けて

日本海沿岸東北自動車道 山形・秋田県境区間建設促進大会

8月18日、ホテルエクセルキクスイで「日本海沿岸東北自動車道 山形・秋田県境区間建設促進大会」が開催され、本荘由利、庄内地域の関係者等が参加しました。大会では日本ジオパーク委員会委員長宮原育子さんの基調講演のほか、地域おこし協力隊や高校生の意見発表が行われ、関係機関への要望事項を決議しました。



▲宮原育子さんによるジオパークとの関係性についての講話

楽しい催しものが盛りだくさん

夢の祭典in潮風

8月15日、潮風公園で夢の祭典 in 潮風が開催されました。イベント当日は芝生を埋めつくすほどの来場者で大賑わい。露店で購入した美味しい料理を堪能しながらダンスショーや三味線と太鼓の生演奏、ケースケ&マサやマスマラエミコさんのライブパフォーマンスを家族や仲間と鑑賞し、みんなで夏の夜を楽しみました。



▲ジャングルキッズによるダンスの披露

にかほ市や日本の文化に興味津々

姉妹都市ショウニー市訪問団がにかほ市へ来市

7月31日から8月5日にかけて、本市の姉妹都市であるアメリカ・オクラホマ州ショウニー市から中学生10人と引率3人の計13人が訪れました。訪問団一行は、土田牧場やTDK歴史みらい館の見学、竿燈まつりを観覧するなどし、にかほ市の自然や秋田の文化を満喫しました。また、仁賀保中学校を訪問した際には、剣道の模範演技を見学したほか、生徒と一緒に書道を体験し、日本の伝統文化を通じ交流を深めました。ホストファミリーや市民の皆さんからの温かいおもてなしにより全日程を無事に終え、帰途につきました。



▲左：TDK歴史みらい館の展望台での様子 右：仁賀保中学校にて習字体験の後の集合写真



新たな担い手が伝統の舞を披露

鳥海山小滝番楽

8月13日、小滝集落で鳥海山小滝番楽のお盆公演が行われました。同番楽は3月に「鳥海山北麓獅子舞番楽」として国の重要無形民俗文化財に指定された番楽の一つ。今年保存会には小学生3人を含む5人が新たに加入しており、「三人立」を初披露しました。会場には地元はもちろん市外からも観客が訪れ盛んな拍手を送っていました。



▲新たに加わった小学生3人による「三人立」

世界認定に向けジオパークをプレゼン

鳥海山・飛鳥ジオパークユネスコ世界ジオパーク認定に向けた現地確認

7月20日から23日にかけて、日本ジオパーク委員会による鳥海山・飛鳥ジオパークのユネスコ世界ジオパーク認定に向けた現地確認が行われました。九十九島や蛸満寺などで調査が行われ、協議会職員など関係者が調査員に現地の保全や活用状況等を説明しました。今後は10月上旬に国内推薦審査の結果が発表される予定です。



▲九十九島について調査員に説明するジオガイド